

令和5年度 城東小学校 自己評価報告書																								
中央区立城東小学校	住所	中央区八重洲2-2-1																						
校長 平山 尚彦																								
児童数 204名	学級数 7	教員数 13名	職員数 15名																					
<p>1 重点目標の達成状況及び取組状況</p> <p>八重洲校舎で迎えた初の年度であり、教育活動の実施方法などを模索してきた。、感染症による制約を受けずに実施する教育活動が増え、児童アンケートでは、「学校に行くのが楽しいですか」「学校行事は楽しいですか」について昨年度に比べ、「当てはまる」「やや当てはまる」が増えた。保護者アンケートでは、学校公開、連絡アプリ tetoru など、学校の様子を知っていただく機会が多くなったため、昨年度に比べ10%以上「わからない」の回答が減るなど向上が見られた。</p>																								
<p>重点目標</p> <p>＜児童＞</p> <table border="1"> <caption>＜児童＞重点目標達成状況</caption> <thead> <tr> <th>質問</th> <th>当てはまる</th> <th>やや当てはまる</th> <th>やや当てはまらない</th> <th>当てはまらない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基礎・基本を身に付けるよう学習していますか</td> <td>58%</td> <td>36%</td> <td>6%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>学級の活動やたてわり班活動などで、思いやりの気持ちをもって相手に臨んでいますか</td> <td>50%</td> <td>47%</td> <td>3%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>健康で丈夫な体になるようになっていますか</td> <td>37%</td> <td>37%</td> <td>17%</td> <td>9%</td> </tr> </tbody> </table>					質問	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない	基礎・基本を身に付けるよう学習していますか	58%	36%	6%	0%	学級の活動やたてわり班活動などで、思いやりの気持ちをもって相手に臨んでいますか	50%	47%	3%	0%	健康で丈夫な体になるようになっていますか	37%	37%	17%	9%
質問	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない																				
基礎・基本を身に付けるよう学習していますか	58%	36%	6%	0%																				
学級の活動やたてわり班活動などで、思いやりの気持ちをもって相手に臨んでいますか	50%	47%	3%	0%																				
健康で丈夫な体になるようになっていますか	37%	37%	17%	9%																				
<p>(1) 重点目標1「確かな学力の向上」</p> <p>概ね良い評価を得られた。近隣の企業との連携など地の利を生かした授業を再開したことが理由として考えられる。</p> <p>＜保護者＞</p> <table border="1"> <caption>＜保護者＞重点目標1達成状況</caption> <thead> <tr> <th>質問</th> <th>当てはまる</th> <th>やや当てはまる</th> <th>やや当てはまらない</th> <th>当てはまらない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学習のねらいを明確にした分かりやすい授業づくりを通して、基礎・基本を定着させている。</td> <td>20%</td> <td>54%</td> <td>17%</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>理数教育を推進し、問題解決型の授業や体験的な活動を取り入れた学習を展開して理科・算数科が好きな児童を育てている。</td> <td>20%</td> <td>48%</td> <td>18%</td> <td>14%</td> </tr> </tbody> </table>					質問	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない	学習のねらいを明確にした分かりやすい授業づくりを通して、基礎・基本を定着させている。	20%	54%	17%	9%	理数教育を推進し、問題解決型の授業や体験的な活動を取り入れた学習を展開して理科・算数科が好きな児童を育てている。	20%	48%	18%	14%					
質問	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない																				
学習のねらいを明確にした分かりやすい授業づくりを通して、基礎・基本を定着させている。	20%	54%	17%	9%																				
理数教育を推進し、問題解決型の授業や体験的な活動を取り入れた学習を展開して理科・算数科が好きな児童を育てている。	20%	48%	18%	14%																				
<p>(2) 重点目標2「心豊かな子どもの育成」</p> <p>昨年度に比べ、肯定的評価が減っている。あいさつキャンペーンなどの継続的な取組が必要である。</p> <table border="1"> <caption>＜保護者＞重点目標2達成状況</caption> <thead> <tr> <th>質問</th> <th>当てはまる</th> <th>やや当てはまる</th> <th>やや当てはまらない</th> <th>当てはまらない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>挨拶の励行を通して、人とかかわりあう児童を育てている。</td> <td>25%</td> <td>49%</td> <td>12%</td> <td>14%</td> </tr> <tr> <td>たてわり班活動を通して、思いやりの心を育てている。</td> <td>21%</td> <td>42%</td> <td>14%</td> <td>23%</td> </tr> </tbody> </table>					質問	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない	挨拶の励行を通して、人とかかわりあう児童を育てている。	25%	49%	12%	14%	たてわり班活動を通して、思いやりの心を育てている。	21%	42%	14%	23%					
質問	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない																				
挨拶の励行を通して、人とかかわりあう児童を育てている。	25%	49%	12%	14%																				
たてわり班活動を通して、思いやりの心を育てている。	21%	42%	14%	23%																				
<p>(3) 重点目標3「健康・安全教育の充実」</p> <p>生活指導部を中心に学校のきまりを見直し、児童も教職員も共通理解を図った。昨年度と同様な肯定的評価を得られた。</p> <table border="1"> <caption>＜保護者＞重点目標3達成状況</caption> <thead> <tr> <th>質問</th> <th>当てはまる</th> <th>やや当てはまる</th> <th>やや当てはまらない</th> <th>当てはまらない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体育の授業の充実や専門家を招いたスポーツ教室、食育指導を通して、粘り強く体を鍛えるとともに、健康維持に努力する児童を育てている。</td> <td>20%</td> <td>48%</td> <td>11%</td> <td>21%</td> </tr> <tr> <td>避難訓練やセーフティ教室、命と心の授業等を通して、安全に気を付け、自ら命を守ろうとする児童を育てている。</td> <td>20%</td> <td>44%</td> <td>4%</td> <td>32%</td> </tr> </tbody> </table>					質問	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない	体育の授業の充実や専門家を招いたスポーツ教室、食育指導を通して、粘り強く体を鍛えるとともに、健康維持に努力する児童を育てている。	20%	48%	11%	21%	避難訓練やセーフティ教室、命と心の授業等を通して、安全に気を付け、自ら命を守ろうとする児童を育てている。	20%	44%	4%	32%					
質問	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない																				
体育の授業の充実や専門家を招いたスポーツ教室、食育指導を通して、粘り強く体を鍛えるとともに、健康維持に努力する児童を育てている。	20%	48%	11%	21%																				
避難訓練やセーフティ教室、命と心の授業等を通して、安全に気を付け、自ら命を守ろうとする児童を育てている。	20%	44%	4%	32%																				

2 重点目標以外の自己評価における達成状況及び達成のための取組状況

- ・全体として、7割以上の項目で80%以上の「よく当てはまる」「あてはまる」の肯定的評価を得た。特に「行事や学校公開などを通して学習・生活の様子を分かるようにしている」の項目が高い評価となった。教育活動を学校公開等で保護者に参観していただいたことが、ご理解につながったと考えている。
- ・ボランティア活動に関しては、昨年度に引き続き、「わからない」が多かった。活動の様子を分かりやすく伝えるとともに、地域に貢献できるように活動を工夫して取り組んでいく。
- ・「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の回答が多かった項目は「児童の悩み、トラブル」「保護者の方への文書・連絡」「コンピュータや図書室の活用」に関するものであった。問題やトラブルに対しては、すぐに聞き取りや状況把握を行い、複数の教員で対応し、当該児童が納得して次に進められるように、引き続き迅速かつ丁寧な対応に努めていく。
- ・児童アンケートで昨年度に比べ、「当てはまる」「やや当てはまる」が増えた項目は、「学校に行くことが楽しいですか」「学校行事」「宿泊行事」が楽しいかの項目であった。感染症の制約を受けずにできる行事、活動が増え、充実感を味わうことができたと考えている。一方「悩みなどについて話しやすい先生はいますか」については、他の項目に比べて低くなっている。これまで以上に児童との対話を図り、見守りながら児童の悩みに寄り添っていくよう全職員で努めていく。また、「学校の約束を守っていますか」の項目は、昨年度に比べ、肯定的な回答が減った。月1回の安全指導をはじめ実施計画に基づき、指導内容を全担任が共通理解を図りながら指導している。よりよい学校生活を送るために、一人ひとりがどのように行動していくか、道徳、安全指導、学級活動などで、自ら考え実践する力を育てていく。

3 今後の改善方策

- ・子供同士のトラブル対応は、さらにご理解いただける対応や指導ができるように努めていく。
- ・保護者の方への連絡は、連絡アプリ **tetoru** を活用して、分かりやすさ、読みやすさなど内容の充実を努める。
- ・児童の学習タブレットの活用方法、図書館の活用については次年度に向けて改善するよう準備を進める。
- ・今後毎年学級増になることを想定し、教育活動全体の見直しを図る。特に、理数教育、企業との連携授業とこれまでの取組を整理し、児童数、学級数に対応した改善を図っていく。